

パラグアイ内政・外交報告（1月分）
政治情勢

2017年2月作成

1 内政

（1）憲法修正を求める署名の提出

13日、与党コロラド党は、大統領の再選を可能とするための憲法修正を求める市民36万6千人分の署名を選挙裁判所に提出した。その後、署名リストの中に故人や未成年、外国人等、有権者以外の署名が含まれていたことが明らかとなったため、20日、選挙裁判所は署名リストを検察に提出することを決定した。

（2）教育省の名称変更

24日、教育省の正式名称が教育文化省から教育科学省に変更された。

（3）宇宙機構総裁の就任

31日、宇宙機構の初代総裁にビエルマン大佐が就任した。同機構は大統領府直属の組織で、事務所は国防省内に設置される予定。

（4）ダカール・ラリー

2日、アスンシオンにおいてオフロード・レースのダカール・ラリーが開幕した。2017年のラリーはパラグアイ、アルゼンチン、ボリビアに跨がる総距離1万キロを走行するコースとなっており、パラグアイは今回初めて開催地となった。

2 外交

（1）ボリビアとの首脳会談

1～2日、ダカール・ラリーの開幕に合わせてモラレス ボリビア大統領が当国を訪問した。2日、二国間首脳会談が実施され、会談後に共同声明が発出された。

（2）カルテス大統領のア首連、スイス、イタリア、バチカン訪問

ア ア首連を訪問したカルテス大統領は、16日にムハンマド アブダビ皇太子と、17日にムハンマド副大統領兼首相（ドバイ首長）とそれぞれ会談した。また、16日、両国の間で投資協定及び租税条約への署名が行われた。

イ 18日、スイスを訪問したカルテス大統領は世界経済フォーラム（WEF）にパラグアイ大統領として初めて出席した。

ウ 20日、イタリアを訪問したカルテス大統領はマッタレラ大統領とワーキングランチを共にした。

エ 20日、バチカンを訪れたカルテス大統領は法王フランシスコに謁見した。

（3）ロイサガ外相のCELAC首脳会合出席

24～25日、ロイサガ外相がドミニカ共和国で開催された第5回CELAC首脳会合にカルテス大統領の代理として出席した。

(4) トルコとの外相会談

31日、ロイサガ外相は当国を訪問したチャヴシュオール トルコ外相と会談した。会談後、両外相により政府間航空サービス協定及び友好協力協定が署名された。

3 要人往来

(1) 来訪

- 1日～2日 モラレス ボリビア大統領
- 30日～31日 チャヴシュオール トルコ外相

(2) 往訪

- 16日～20日 カルテス大統領, ア首連, スイス (ダボス), バチカン, イタリア訪問 (ロイサガ外相及びレイテ商工相が同行)
- 15日～22日 バルハ農牧相, ドイツ訪問
- 17日～27日 リエラ外相, スペイン, 英国訪問
- 23日～27日 ヒメネス・ガノア公共事業相, ドイツ訪問
- 24～25日 ロイサガ外相, ドミニカ共和国訪問 (第5回 CELAC 首脳会合)